



名称	前谷古墳群 1 号墳
よみがな	まえたにこふんぐん いちごうふん
指定	市指定
種別	史跡
種類	遺跡
所在地	大和町上徳良
所有者	個人
員数	—
指定年月日	平成 14（2002）年 2 月 21 日
構造形式	石
法量	—
時代	6 世紀後半から 7 世紀前半頃
公開状況	公開
交通案内	J R 河内駅から車で約 30 分

【解 説】

この古墳群は上徳良の北側に広がる丘陵南斜面に所在し、円墳 2 基で構成されます。石室の規模は全長 7.8m、幅は奥壁面で 2.0m、玄室部（げんしつぶ）と羨道部（せんどうぶ）との境界で 1.3m、石室入口で 1.45m、高さ約 2.4m です。玄室と羨道部の境界は、入口に向かって左に幅 0.45m の立石を配置して片袖式にするとともに、天井石に高低差をつけています。こうした構造をもつ古墳は、大和町ではほかに確認されていません。

出土遺物は明らかではありませんが、石室の構造から 6 世紀後半頃から 7 世紀前半頃の築造と考えられ、この地域を開発した有力者の墓と考えられます。